

静岡県言語・聴覚・発達障害児研究会

会 報

第512号

発行日 平成28年2月25日

担 当 〒411-0848

三島市緑町7-7
三島市立西小学校内
三島市教育委員会
ことばの教室幼児部
TEL 055-975-6924

三島市教育委員会ことばの教室幼児部は、昭和48年4月1日に小学校と合同で相談事業を開始し、昭和52年に小学校から独立しました。東部地区の幼児部としては、富士市、沼津市に次いで3番目に設立されました。当時から設置者は、三島市教育委員会です。幼稚園に併設されていた時期もありましたが、現在は、学齢部のことばの教室が設置されている三島市立西小学校の教室をお借りして指導を行っています。小学校の中に幼児部の指導教室があることで、連携がとれ、時には指導法について助言をいただけることは、大変心強いことです。通級児は年々増え、今年度は相談児と通級児を合わせ45名となっています。ほとんどは公私立問わずに保育園や幼稚園からの紹介です。



<本指導教室のねらい>

- 1 ことばの発音の不明瞭さを改善する。
- 2 正しいことばの獲得をめざす。
- 3 相手にわかる話し方を学習し、まわりの人とのコミュニケーションをはかる。
- 4 言語面での保護者の相談に応ずる。
- 5 医療機関や関係機関と連携をとり、お子さんにとってよい方法を探る。

<指導の流れ>

- 1 はじめの挨拶
 - ・保護者、通級児、指導者の3人できちんと挨拶をする。
- 2 壁面に掲げられている絵を見て、毎回名称を言う。
 - ・発音しにくいことば（15の絵）を選んで言うことで、不明瞭の傾向がわかる。
 - ・毎回繰り返し行うことで、ことばが改善されていく状態が、保護者、通級児、指導者も確認できる。
- 3 口の体操・口の開け方の指導
 - ・ミルク煎餅や米はぜ、笛ラムネ等のお菓子を使った指導
 - ・ストロー等を使い、息を吹いたり吸ったりする指導
 - ・口や舌の発達を高める指導
 - ・家庭でも楽しくできる方法を知らせる。
- 4 ことばカードや文カードを使った指導
- 5 個別の活動計画にそった指導
(教材や教具を使った指導・絵本の読み聞かせ)
- 6 保護者も交えたゲーム
- 7 次回の予定確認
- 8 終わりの挨拶



<指導回数>

年中児 月1回 年長児 週1回

<指導形態>

保護者同室参観で1対1の個別指導

<指導時間>

1回45分



通級児だけでなく、保護者にも「ことばの教室って楽しい」と思えること、さらに「声を出すことの楽しさを味わえる」ように、温かみの中身の濃い指導を考えていくことが大事だと思っています。



【通級児の保護者から】



サ行の発音ができるようになり、本人も自信がついたようで、幼稚園でも積極的に発言ができるようになりました。ことばの発音だけではなく、絵本の読み聞かせやゲームなどを通して、いろいろなことを教えてもらえるのがよかったです。

先生との信頼関係がしっかりできたことで、少しずつがんばる力が発揮できるようになってきたと思います。ご指導の一つ一つにねらいを感じることができて、とても勉強になっています。

ことばの発音がよくなるにつれ、自信がついてきたのか、恥ずかしがり屋だったのが友達とも積極的に仲良く遊べるようになりました。

先生が娘一人と向き合って、娘のペースで何度も何度も教えてくれたので、本人も嫌がらずにがんばれたと思います。毎回、通うのが楽しいと本人が言ってくれたのでよかったです。



通い始めてから娘のことばにすぐ変化が表れました。今まで兄にすごく指摘されていたので、嫌な思いをすることがなくなり、本当によかったです。何より娘が教室に通うことをとても楽しんでくれたことが嬉しいです。

全く違和感がないくらいことばがはっきりして、こんなにも変わるのかと、びっくりしています。本当にことばの教室に通わせてよかったです。

通級するようになって、ことばがかなりはっきりしてきました。本人も気をつけて発音する姿が見られます。毎回教材を使って工夫して教えてくださりありがとうございます。

ことばの数が増えました。幼稚園の先生からも自分から話してくれるようになったと聞いています。前に比べて、一つ一つの単語が正しく言えるようになったと思います。

【幼稚園・保育園の先生方から】

ことばの教室に通級し、話すことに自信を持った様子が伺えます。本人は、友だちとの会話をとても楽しんでいて、話すことばも増えているように感じています。

教師に対してもスキンシップを図ったり、自分から話しかけたりしてくるようになってきました。集団遊びにも積極的に参加する姿がみられるようになってきました。

幼稚園でも友だちとの会話や自分の思いを伝える際、相手の子が聞き直したりすることなく、スムーズに話ができるようになってきました。

相手にことばで伝える事が難しく、手が出てしまうこともありましたが、自分の気持ちをことばで伝えられるようになってきました。

周囲に「わからない」と指摘されることが減った分、人前で話すことへの躊躇はなくなってきました。



行事などの活動に、以前より積極的に参加するようになり、自分からことばを発する機会が増えました。

「サ行」の発音がとても上手になり、本人も大変喜んでいますが、上手に発音ができるようになったことで、自信がつき、積極的な姿も多くみられるようになりました。

友だちと会話することを楽しむようになり、運動会では「キリン組、負けないぞ！」と大きな声でかけ声を言うことができました。本人は、自信を持って話しているため、今後も継続して訓練ができることを願っています。

ことばの教室に通うことを本児も楽しみにしており、終わってから登園すると「今日は、～やったよ。」と報告をしてくれます。

まだサ行の不明瞭さは残っていますが、ことばの教室に通うようになり、本人が発音を意識しているため、以前より改善されてきたように感じます。

